

定期作況報告

(第2号 平成24年6月20日現在)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

- 5月下旬：最高気温は平年より0.8℃高く、最低気温も平年より1.1℃高かった。降水量は平年より3.0mm少なく、平年対比88%であった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より16.9時間多く、平年対比127%であった。夏日（最高気温25℃以上）は2日であった。
- 6月上旬：最高気温は平年より2.8℃高く、最低気温も平年より0.8℃高かった。降水量は平年より0.5mm多く、平年対比103%であった。降水日数は平年より1日多かった。日照時間は平年より17.4時間多く、平年対比131%であった。夏日は4日間であった。
- 6月中旬：最高気温は平年より2.1℃低く、最低気温も平年より1.7℃低かった。降水量は平年より1.1mm多く、平年対比105%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より2.7時間多く、平年対比105%であった。夏日は2日間であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象表

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.6	19.8	0.8	24.9	22.1	2.8	21.3	23.4	▲ 2.1	22.3	21.8	0.5
最低気温(℃)	8.5	7.4	1.1	11.0	10.2	0.8	10.6	12.3	▲ 1.7	10.0	10.0	0.0
平均気温(℃)	14.0	13.4	0.6	16.9	15.9	1.0	15.2	17.5	▲ 2.3	15.4	15.6	▲ 0.2
降水量(mm)	21.5	24.5	▲ 3.0	16.5	16.0	0.5	24.0	22.9	1.1	62.0	63.4	▲ 1.4
降水日数(日)	2	4	▲ 2	4	3	1	2	3	▲ 1	8	10	▲ 2
日照時間(hr)	80.6	63.7	16.9	74.4	57.0	17.4	54.7	52.0	2.7	209.7	172.7	37.0

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲：やや良

事由：移植は平年より1日早い5月18日に行った。移植時の風により葉先枯れが発生したものの、5月下旬から6月上旬の好天により、活着および初期生育は良好であった。6月中旬は低温に経過したが生育は順調で、生育進度は平年よりやや進んでいる。

6月20日現在、主稈葉数は平年より0.2~0.3枚多く、㎡当たり茎数は平年の132~147%で多かった。草丈は「きらら397」が平年より1.5cm低かったが、「ほしのゆめ」は1.0cm、「ななつぼし」も0.8cm高かった。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品種名 苗	主稈葉数(枚)			茎 数(本/㎡)				草 丈(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
ほしのゆめ 成苗	8.3	8.0	0.3	746	553	193	135%	37.0	36.0	1.0
きらら397 成苗	8.9	8.6	0.3	861	587	274	147%	32.0	33.5	▲1.5
ななつぼし 成苗	8.5	8.3	0.2	669	506	163	132%	39.3	38.5	0.8

注1) 平年値は前年7カ年中、平成20年、平成21年を除く5カ年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて減を示す。

3) 本田耕種概要

施肥量 : N、P₂O₅、K₂O成分をそれぞれ8.0、9.7、6.9(kg/10a)、堆肥は1t/10a。

栽植密度 : 25株/㎡(33.3cm×12.0cm)

植え本数 : 3本/株

移植日 : 5月18日

除草剤散布日 : 5月24日

2) 秋まき小麦：やや不良

事由：融雪以降、気温が高く経過し生育が急速に進んだため、出穂期は平年より5日早かった。前報に引き続き、茎数は平年を大きく下回っており、穂数は平年を下回ることが予想される。また、草丈も平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品種名	出 穂 期 (月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/㎡)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きたほなみ	6.04	6.09	△5	85.1	94.3	▲9.2	545	740	▲195

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年(収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

3) 春まき小麦：やや良

事由：5月下旬以降は、6月中旬を除き、高温に経過した。そのため出穂期は平年より4日早く、草丈、茎数は平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表4 6月20日の春まき小麦の生育

品種名	出穂期(月日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
春よ恋	6.17	6.21	△4	78.7	70.7	8.0	749	684	65

注 1) 平年値は、前7か年中、平成20年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

4) 大豆：やや不良

事由：播種期、出芽期ともほぼ平年並で、出芽揃いも良好であった。しかし、圃場が乾燥気味に経過したことや6月中旬の低温により生育は抑制気味となり、主茎長は平年より2.6cm短く、主茎節数は0.4節少ない。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 6月20日の大豆の生育

品種名	播種期(月日)			出芽期(月日)			主茎長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ユキホマレ	5.21	5.21	0	6.03	6.04	△1	10.5	13.1	▲2.6

品種名	主茎節数(節)		
	本年	平年	比較
ユキホマレ	4.0	4.4	▲0.4

注 1) 平年値は前7か年中、平成18年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

5) 小豆：平年並

事由：播種は平年より5日早い5月21日に行った。その後、圃場が乾燥したため出芽迄日数は平年よりやや長かったが、出芽は概ね良好であった。出芽直後は高温に、6月中旬はやや低温に経過した。その結果、両品種とも主茎長は平年をやや下回っているが、本葉数は平年をやや上回っている。したがって、目下の作況は平年並である。

表6 6月20日の小豆の生育

品種名	播種期(月日)			出芽期(月日)			主茎長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリモシヨウズ	5.21	5.26	△5	6.07	6.09	△2	4.1	4.7	▲0.6
しゅまり	5.21	5.26	△5	6.06	6.09	△3	5.0	5.7	▲0.7

品種名	本葉数(枚)		
	本年	平年	比較
エリモシヨウズ	1.3	1.1	0.2
しゅまり	1.4	1.1	0.3

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、20年を除く5か年の平均値。
2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

6) ばれいしょ：やや不良

事由：植付期は平年より3日早く、萌芽期は2日早かった。しかし、圃場が乾燥し生育は抑制されたことから、茎長は平年より5.4cm短い。着蕾はみられるが開花には至っていない。したがって、目下の作況はやや不良である。

表7 6月20日のばれいしょの生育

品種名	萌芽期(月日)			開花始(月日)			茎長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵いも	5.28	5.30	△2	未	6.25	—	28.3	33.7	▲5.4

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年を除く5か年の平均値。
2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

※5月20日の時点で播種していなかった大豆、小豆の耕種概要は以下の通りである。

表8 大豆・小豆の耕種概要

作物名	前作物	畦巾 cm	株間 cm	1株 本数 (本)	株数 (株/ 10a)	施肥量 (kg/10a)				
						N	P2O5	K2O	MgO	堆肥
大豆	秋まき小麦	60	20	2	8,333	1.8	13.2	9.0	4.2	-
小豆	秋まき小麦	60	20	2	8,333	3.0	12.0	7.0	3.0	-